

令和5年度第9回 教育委員会会議 会議録

- 1 日 時 令和5年8月24日（木）09：00～09：23
- 2 場 所 教育委員会会議室 ハーバーセンター4階
- 3 出席者 長田教育長
正司委員 今井委員 山下委員 吉井委員 本田委員
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 0名（一般0名・報道0名／報道0社）
- 6 会議内容

（長田教育長）

おはようございます。それでは、ただいまから教育委員会会議を始めます。

本日は議案3件、協議事項3件、報告事項が1件です。

まず、非公開事項についてお諮りをいたします。このうち教第23号議案につきましては、教育委員会会議規則第10条第1項第3号の規定により、長の作成する議会の議案に関すること。教第25号議案につきましては、同項第4号の規定により、委員の委嘱及び解職、並びに任免に関すること。教第24号議案、協議事項9、報告事項1につきましては、同項第6号の規定により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものに、それぞれ該当すると思われまますので、非公開としてはどうかと思いますが、いかがでしょうか。

（賛同）

（長田教育長）

それでは、ただいま申し上げました議案、協議事項、報告事項につきましては、非公開とすることといたします。

協議事項24 令和5年度全国学力・学習状況調査の実施結果について

（長田教育長）

まず協議事項24からまいります。協議事項24は、令和5年度全国学力・学習状況調査の実施結果についてです。

それでは説明をお願いします。

（藤井教科指導課長）

協議事項24を説明させていただきます。1ページをご覧ください。

令和5年度の全国学力・学習状況調査の実施結果でございます。これは4月18日に実施されて、その結果が7月31日に全国で公表されてございます。既に委員の皆様にも資料は御提供させていただいたところでございます。調査について、ごく簡単に御説明させていただきます。

4月18日に実施されまして、小学校6年生・中学3年生が対象で、2.に調査結果の概要がございます。小学校6年生の国語と算数、あるいは中学校3年生の数学・英語といったところは、全国と比較しても比較的良好な結果でありましたが、中学校3年生の国語について、課題が見られるという状況でございます。

続いて2ページでございます。2ページ以降に、児童質問紙、学校質問紙、それぞれ学力調査ではなくて、問いを設けておりますので、こちらについても簡単に確認させていただきます。

児童生徒質問紙については、②③④といったところが、「自分にはよいところがある」「いじめはいけないことだと思う」「人の役に立つ人間になりたい」、こういった面について、全国的にも高いんですけども、神戸においても非常に高い数値となっている一方で、⑤の「学校に行くのは楽しいと思いますか」といったところは、全国と比べますとやや低くなっているという傾向がございます。

あるいは⑧⑨で、「算数・数学がよく分かるか」といったところが、やや低くなっている。一方で学力調査のほうは、特に問題がある結果が出ているわけではないというところもありまして、今後、学力向上推進委員会等、また学校にも検証結果を出していただきますので、そういったところで分析してもらいたいと考えてございます。

3ページには、学校の質問紙の結果を添付してございますので、御参照ください。

以上です。

(長田教育長)

それではこの件について、御意見をいただきたいと思っております。

なお、学校ごとの順位等に関する内容につきましては、教育委員会会議規則第10条第1項第6号の規定により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものに該当すると思われまますので、後ほど非公開の場で協議をさせていただきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(賛同)

(長田教育長)

それでは、それ以外の部分で、御質問、御意見があればお願いをしたいと思います。

どうぞ。

(今井委員)

数字に一喜一憂してはいけないと思いつつも、でも小学校、すごく頑張っていたいただいて、いい傾向が出ているっていうのは、ありがたいことだなと思います。中学校のほうは、ちょっと国語のほう心配なところではあるんですけども、堅調なところはありがたいと思っております。

ただ、中学は国語ですね、心配な数字が出ていて。具体的な中身として、過去の傾向も含めて、神戸の中学校で国語のどういう分野が特に弱いのか、知識・技能のほうなのか、それとも表現とかそういう違う分野なのか。もし何か分析されたり、御見解で考えられているところがあれば、教えていただきたいというのが1点と、次のページからの質問紙調査のほうで、こちらもすごくいろいろ大事なところを質問いただいて、先ほども御紹介いただいた、「自分にはよいところがあると思う」がすごく数字が出ているというのは、とてもいいことだと思うんですが、ただやっぱり「学校に行くのが楽しいか」というところが、少し下振れしているのが気になる場所だなと、もう少し中身をつめていかなければいけないなと思っていて、これはもちろん意見ですけども。

あと、ここに挙げていただいているのは、質問紙調査の中の抜粋なんですけれども、もともとの質問紙、ほんとすごくたくさんいろんな御質問があって、ほかにもすごく重要なことをいろいろ聞いていただいて、集計が出ていると思いますので、ほかのところでも神戸の数字が、どういうところが厳しくなっているのかということは、ほんとに分析していかなければならないなと思っています。これも意見です。

よろしくをお願いします。

(大藪中等教育担当課長)

国語の件に関しまして、昨日学識者と検討会を始めたところでございますが、設問内容から見て、自分の考えを記述して書くという問題について、やはり中学校の解答ですが、正答率が悪いというところが見られますので、その点について、もう少し精査してまいりたいなと思っております。

(藤井教科指導課長)

ほかの質問紙のほうですね。学力調査とのクロス集計含めて、ちょっと詰めていって、今年度できるだけ早い段階で、改めて教育委員会会議でも調査結果については御報告させていただきたいと考えてございます。

(長田教育長)

よろしいですか。

ほか、いかがでしょうか。どうぞ、正司委員。

(正司委員)

入学試験とはちょっと違う意味でのテスト、日頃の学習の成果のレベルを測るテストとはいえ、全員100点になるように問題作成しているというわけじゃないと思うんですけども、7割弱ぐらいのレベルというのは、先生方としては期待通りなのでしょうか、それとももう1割ぐらい上げたいところでしょうか。また、平均としてはこれぐらいだけど、ばらつきの大きさが気になるというところでしょうか。そのどっちなのかなっていう点について、どの科目についても少し教えていただければありがたいなと思っております。

それとあともう1つは、先ほどの国語の、自分の考えを記述する点が少し弱かったんじゃないかという分析結果をお聞きしました。よく新聞なんかでは、英語の話すことが問題視されている報道が出ていますけど、この書くほう、「書く」ということに関しては、どんな状況になっているのか、そのあたりの分析が進んでいるようであれば教えていただきたいし、まだであれば今後そのあたりを分析していただけるといいなというふうに感じています。

(大藪中等教育担当課長)

英語の書くほうに関しましては、全国平均との比較になってまいりますけど、それについては少し上回っているかなという状況です。全国平均並みでありますし、正答率もそんなに高いものではありませんので、引き続きこの流れで進めていきたい。

教科ごとの状況でございますけれど、教科ごとに中間層が高かったり、低かったりと、いろいろございますので、それが教科の特性であるのか、問題の特性であるのかについても、学識者等でもう少し分析させてもらいたいと思っております。

(正司委員)

文科省のホームページにいくと、問題の解説があつて、全部はちゃんと読めてないけれど一部を拝見してみると、いろいろ書いてあつて、あれを見ると全部正解しないと普通じゃないようにも読めるんですけど、実際はそうじゃないと思います。ただやっぱり最低限ここはっていうレベルがあると思うんで、そのあたりの絶対水準と相対水準、両方の分析をバランスよくやっていただければと思います。また、分析結果を基に議論させてください。

(長田教育長)

ほか、いかがでしょうか。よろしいですか。

どうぞ。

(正司委員)

子供たちのアンケートのほうで、朝食を食べてない子が2割ぐらいある。それから学校に行くのが楽しいと言えないっていう子も、それぐらいのレベルがいるという、これはちょっと寂しいなと思いました。それに対応する質問が学校側にはないんですけど、このレベル感っていうのは、やっぱり先生方が把握しているレベルに近いものなのか、先生方はもうちょっとみんな食べてきているんじゃないかとか、もうちょっと学校が楽しそうに來ているんじゃないかと思われるのか、そのあたり、実際のところはどんな感じなのか。感覚的なお答えで結構ですので、そのあたり教えていただけるとありがたいなと思います。

(大藪中等教育担当課長)

本当に主観的な回答で、申し訳ございません。やはり学校とか地域によって、それぞれ捉え方が変わってくるところもありますので、その学校の今の状態で、いろんな捉え方をされているのかなというところが本音のところですよ。

(長田教育長)

標語か何かで「早寝・早起き・朝ごはん」、一時ずっと言っていましたよね。あれは今も学校現場で浸透しているんですか。要は「朝御飯食べよう」というようなスローガンとか、かけ声みたいな。今現在、子供たちに対してそういうのを勧めているのか、御家庭に対しても。その辺はいかがですか。

(大藪中等教育担当課長)

チャレンジ10ということで、スローガンを10個ほど並べて、現在はカレンダーにして、教室掲示をして、周知しているところがございますけど、そのカレンダーという周知のやり方を少し変えていって、もう少し周知できればという、そういうような検討をしています。

(長田教育長)

子供に言うだけじゃなくて、保護者の方にもそういうのを伝えないといけないですよ。どうぞ。

(田尾教科指導担当部長)

すいません。カレンダーは今年度ちょっと一旦停止をしております。と申しますのは、当時の子供たちから集めた標語が、今の時代と大分沿わなくなってきましたので、全面的にちょっと見直そうということになっておりますので、一旦カレンダーは今年度中止しておりますけれども、また別の形で発信はしていきたいと思っております。

ただ「早寝・早起き・朝ごはん」は、どの時代でもずっと続けているものですので、学

校現場においては定着をしているというふうには思っております。

(長田教育長)

ぜひそのあたりもう一度、改めての注意喚起というか、周知をお願いしたいと思っております。

この前の新聞報道でも、夏休み期間中に限ったのかどうか、ちょっと記憶が定かではありませんけど、1日2食しか食べないお子さんが4割か何かという数字が、確か出ていましたね。ちょっとびっくりしたんですけども。

いずれにしても朝御飯を食べる、ちゃんと決まった時間に起きて食べるということが、恐らくいわゆる規律正しいというか、リズムを作って、そして学校生活も楽しいし、学力も体力も向上するというにつながっていくと思われまますので、ぜひそのあたり、また今日お話があったような方向で、お願いをしたいと思います。

ほか、ございますか。

それではまた後ほど、非公開の場で御議論をお願いしたいと思います。

協議事項25 令和6年度兵庫県公立高等学校入学者選抜について

(長田教育長)

続いて協議事項25です。令和6年度兵庫県公立高等学校入学者選抜についてです。

(西山高等教育課長)

資料の2ページ、3ページをご覧ください。

まず2ページでございますが、第1学区における全日制高校の学級数の推移でございます。3ページのほうは、県下の定時制高校の学級数の推移を示しております。全日制・定時制ともに、前年比で水色の部分が学級増、ピンク色が学級減を示しております。

昨年度実施しました令和5年度入試、現高校1年生が対象の入試でございますけれども、全日制・定時制ともに、前年度から学級数の増減はありませんでした。

続きまして4ページ、5ページをご覧ください。こちらのほうは、全日制・定時制高校のそれぞれの志願者倍率の推移を示しております。

神戸市立の全日制高校におきましては、おかげさまで比較的高い志願倍率で推移をしております。ただ一方、定時制高校におきましては、摩耶兵庫高校の昼間部でクラスを増やした初年度の入試、それを除き、1倍を超える志願者倍率とはなっておるんですけれども、その摩耶兵庫高校を含めて、夜間の定時制高校につきましては、1倍を切る倍率で推移をしているような状況になっております。

説明のほうは以上となります。

(長田教育長)

それではこの件について、御意見等はございませんでしょうか。

これ葺合高校がですね、平成31年度の1.87倍は異常に高いかなとは思いますが、その後、1.31から1.14になって、ちょっとずつ減ってきているというのが気になるんですけど、これ何か理由、心当たりみたいなのはありますか。

(西山高等教育課長)

そうですね。もともと葺合高校、普通科につきましては7学級だったんですけども、神港高校、今の神港橋高校ですね、それが兵庫商業と再編されるときに、当時普通科が神港高校にございましたので、そちらのほうの関係で、もともと5学級だったんですけども現在の7学級になりました。というところで、全体として9学級という大きな学校になっております。

ただ、普通科につきましては、葺合高校の国際科のほうは、割と特色ある取組をしておるんですけども、普通科につきましても、いろいろとやっておるんですけども、国際に比べて若干、広報というか取組について、なかなか浸透してないのかなってところはあると思われまます。

(長田教育長)

ということは、もうひとつその魅力化みたいなものが周知できていないというか、特色化、魅力化が伝わっていないというか、そういうことなのか。あるいは高校そのものに、少し時代とともに、この普通科という中で、そのあたりの魅力化が薄れてきているということなのか。

(西山高等教育課長)

そうですね。国でも普通科改革というところを言われております。全体の7割が普通科というところになりまして、普通科につきましても魅力化・特色化を図っていかねばならないという中で、当然、葺合高校の普通科につきましても、さらに魅力化、特色化を図っていくってということも検討をする必要があると考えております。

(長田教育長)

いずれにしても、今後の在り方として、少し将来を見据えた抜本的な何か在り方の改革みたいなのが必要だという。私は今、そういう理解をしましたが、それでよろしいですか。

(西山高等教育課長)

そうですね。はい、今のままでは何ともしがたいですので。

あと、御承知のとおり、全国的にも少子化になってきております。いろんな意味で、今の普通科教育について、見直しを図っていくと。その中で、葺合高校につきましても、しっかりと検討していくという必要性は考えております。

(長田教育長)

ほか、何かございますでしょうか。
どうぞ。

(今井委員)

質問なんですけど、定時制のほうで、摩耶兵庫の昼間部の倍率が、直近で1.61倍とかなり高くて、ここで不合格になった方っていうのは、そういう方々はどこに行かれるのかっていうのは把握されているのでしょうか。

(西山高等教育課長)

例えば定時制の場合、募集人数に満たない場合、3月末に再募集というのがございまして、夜間のほうで再度受け直すでありますとか、あるいは通信制のほうに、ということもあります。

(今井委員)

定時制の昼間部においての需要は、やっぱりかなり今、高まっているっていうふうに思っていますか。

(西山高等教育課長)

そうですね。神戸市内でしたらもう摩耶兵庫高校だけが、昼間の時間帯の学科を設置しております。ただ、県下でも近隣阪神のほうに、阪神昆陽。あと、西宮香風、そちらのほうが多部制で、一部・二部、午前と昼間、その時間帯はやはり高い倍率で推移をしております。

(今井委員)

分かりました。ありがとうございます。

(長田教育長)

ほか、いかがでしょうか。
また今後の方針に関することにつきましては、後ほど非公開の場で協議をさせていただきたいと思いますが、そのほかはよろしいでしょうか。
ありがとうございました。

このほか、ほかの項目でも結構ですが、何か委員の皆さんから、御意見等はございませんか。よろしいですか。

またお気づきの点がありましたら、後日でも結構ですので、事務局のほうまで御連絡をいただきたいと思います。

それでは本日の公開案件は、ここで終了といたします。

閉会 9時23分